

三育だより

2023年7月25日発行

2023年度第1号

学校法人三育学院 東京三育小学校

〒177-0053 練馬区関町南2-8-4

TEL 03-3920-2450

URL <https://www.tokyosaniku.ed.jp>



校訓「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。」(口語訳聖書)

「不必要になる働き：愛」

学校長 平田 理(ひらた まこと)

児童文学の名著『ナルニア国ものがたり』等の著者として知られる、C・S・ルイス (Clive Staples Lewis, 1898-1963) は「与えるということの本当の目的、それは愛を受け取る側が、それをもはや受け取る必要の無い状態になることだ。」と記しています。(『愛を与える』) 子どもの周囲にいる大人への進言であり、苦言でもあります。親として、家族として、教職員として子どもたちを養い、教えるのは、子ども自身が生業を見つけ、自立するためであり、子ども自身が学びを深め、学び続けられるためです。まさに、周りの大人たちの教えや助けが不要になるように導くことです。ルイスの言葉を借りれば、大人が与えようとする『愛は、愛自体を放棄するように働かねばならない』ということです。

家庭や教室で、どんなに困難な状況が続いたとしても、子どもたちの中に希望、未来の光を見つめることができれば、その期待に忘れ、手助けしたいと教え、導き、支える努力をします。しかし、だからこそ忘れてはならないことは、『子どもたちは私たちの元を離れ、視界から見えなくなる存在』であることです。多くの場合、大人は子どもの人生に付き添い続けることは出来ません。自転車の練習のように、少しずつ、手を放して、離れる備えが必要です。子どもは自らの力で前進し続けなければなりません。ペダルを踏む力が必要です、ハンドルを行先に向け続ける力も必要です。転んだ時には自ら起き上がり、立て直す力もつけなければなりません。

使徒パウロは、与えることの本質に関して、示唆に富んだ言葉を記しています。

「泣く人は泣かない人のように、喜ぶ人は喜ばない人のように、物を買う人は持たない人のように、世の事にかかわっている人は、かかわりのない人のようにすべきです。この世の有様は過ぎ去るからです。」(コリント信徒への手紙 I 7章30-31節)

この世のすべては過ぎ去るのだから、言わば、「愛し、愛されて生きる人は、愛さず、愛されなかったように生きる」視点が必要だということです。

大人力を放棄したり、所有物かの如く独占したりするのではなく、子どもが自らの力でのびのびと歩み続け、「与えようとした愛」が不必要になるように見守りたいものです。



Tokyo San-iku Elementary School

Since 1898

東京三育小学校

校内行事報告

入学式 4月

第75回入学式は、全校児童が一堂に会して挙行でき、多くの皆さまのお祈りに感謝の一日でした。コロナ禍の数年は、6月に午前午後分散入学式を行ったり、在校生は各教室でモニターを通してお祝いしたりといった入学式でしたが、今年はみんなでお祝いできる幸いを改めて実感しました。三育の子どもとして、神様が一人ひとりを豊かに祝福くださり、個性が磨かれ、地の塩、世の光として成長する6年間になりますようお祈りしています。



運動会 5月

同居しているご家族に限られましたが、人数制限なしの運動会が実施できました。入学間もない1年生は、緊張しながらも連日の練習の成果を発揮しました。5・6年生による鼓笛隊、親子競技や保護者の綱引き・障害物競争・リレーが再開し、フルバージョンのプログラムを実施することができ、子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆さまの気合いも高まり、恒例の「三育運動会」復活！の一日でした。



国際交流 5月

系列校・ウィマー大学(Weimar University/アメリカ・カルフォルニア州)管弦楽の皆さんがご来校くださいました。約1時間にわたり讚美歌などの演奏と神様のお話をしてくださいました。ウィリアム・C・グレンジャー博士の4代後のウィリアム・スモールさんもご来校になり、グレンジャー・チャペルと名づけられている場所で、一緒にお祈りできたことは大きな喜びでした。



各学年の英語の授業に参加したり、昼休みに一緒に遊んでくださったり、別れがたい時間を過ごしました。

祈り週 6月

SDA小金井教会牧師・島田隼人先生が「無敵&優しいイエスさま」と題して1週間メッセージをくださいました。全学年がチャペルに会すことができ、保護者の皆さまの参加も可能となりました。



島田先生の分かりやすいメッセージをとおして、「もっと神様のお話が聞きたくなりました」「神様と手をつないで歩みます」「イエスさまが私たちのために十字架にかかってくださったことを忘れません」との声が多く聞かれました。

沖縄修学旅行 6月

6年生たちは沖縄の歴史・文化について事前学習を重ねました。そして沖縄に行かなければ得られない空気・自然・言葉・食べ物・人々に触れました。それ以上に戦争がもたらしたもの・いのちの尊厳・平和について考え、平和記念公園でみんなで祈りの時間を持ちました。「平和をつくり出す者」として何ができるのかを考え、実行できる人になってほしいです。



沖縄三育小学校・横浜三育小学校とも交流し、互いの学校紹介や賛美とお祈りをとおして、三育の仲間であることを実感しました。

多くの皆さまのお祈りのうちに、教育活動を止めることなく1学期を無事に終えることができました。ありがとうございました。7/22～8/28は夏期休暇です。厳夏の折、気をつけてお過ごしください。